

守っていますか？

交通安全マナー



1日に約6万台の自動車が行き交う佐世保市の主要幹線・国道35号の常盤町付近

便利で快適な自動車は、私たちの日常生活に欠かせないものとなっていますが、一方で交通事故の発生件数は年々増加する傾向にあります。

交通事故の原因はさまざまで、事故を無くすことは易いことではありませんが、交通事故防止のためには、日ごろから私たち一人ひとりが交通ルールを守っていくことが大切です。

交通事故多発の背景

佐世保市の運転免許保有者は約13万3千人、車両保有台数は約16万台です。

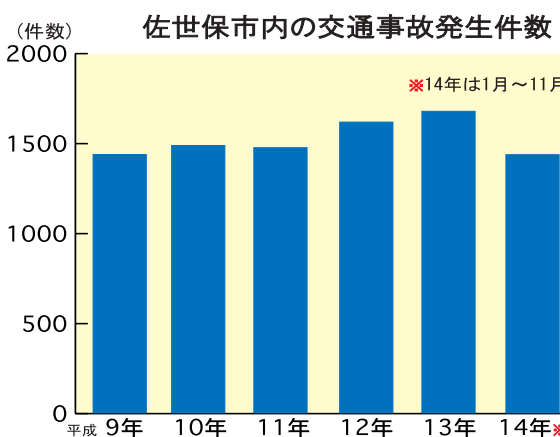
高度経済成長期から、自動車の生産が著しく増大し、運転免許保有者も増加しました。これに伴い交通量が増加し、道路は慢性的に交通過密状態となっています。

また、高齢者の人口増加に伴い、高齢者が加害者・被害者となる事故が増えています。

交通事故防止への取り組み

昨年6月に道路交通法が一部改正され、悪質で危険な酒酔い・酒気帯び運転、無免許運転などの違反点、事故点が増え、罰則が強化されました。市では、警察署や交通安全協会などの関係機関、交通指導員会、交通安全母の会などの関係団体の協力の下、交通安全思想の普及活動、交通事故防止対策を推進しています。

また、幼児交通安全教室や高齢者交通安全教室の開催、カーブミラーなどの交通安全施設整備を実施しています。



佐世保市の交通事故の状況

交通事故発生件数は、平成13年が1,675件で過去最高となりました。平成14年は11月まで1,434件で、前年より減少していますが、交通事故が多発する傾向が収まったとは言えません。

100日間の無事故・無違反に挑戦！ させば飛躍年

交通安全宣言チャレンジ100

期間の初日に交通安全を宣言する参加者代表



佐世保市制百周年にちなみ、昨年8月1日から11月8日までの100日にわたり実施されました。市内に在住または勤務先があつて運転免許を持っている人が5人1組でチームを作り、七百九十四チーム・三千九百七十人が参加しました。

チャレンジ期間中の交通事故発生件数

管内	件数	死者数
早岐警察署	132 (-1)	3 (+3)
佐世保警察署	221 (-10)	1 (±0)
相浦警察署	101 (-17)	0 (-2)
合計	454 (-28)	4 (+1)

※()内は前年比

期間中の交通事故が減少

期間中、配られたステッカー(写真上)を車に張るなどして交通安全に努めました。その結果、佐世保市の警察署管内の事故発生件数は、四百五十四件で前年より28件の減少(表右)となり、チャレンジの成果が現われたようです。

無事故・無違反達成の 一〇五チームが表彰されました

チャレンジ参加チームの中から抽選で百三十三チーム・六百六十五人を選び、県自動車安全運転センターに照会した結果、六百三十五人(95%)が無事故・無違反を達成しました。その内、チーム全員が無事故・無違反を達成した百五チームが表彰されました。一般表彰が百チーム、ユニークなチーム名をつけた「石橋たいいて安全運転」チームなど5チームが特別賞を受賞しました。



一般表彰受賞者を代表して表彰を受ける3チームの代表者

平成15年度災害共済の 加入受け付け

交通事故や火災に遭ったとき、被害に応じて見舞金が支給されます。

● 交通災害共済

年額1人五百円
(見舞金三万円〜百七十万円)

● 火災共済

年額1世帯三百六十五円
(見舞金十万円〜百万円)

加入方法

2月3日から市役所交通安全対策課、各支所、市内の金融機関(郵便局と長崎県民信用組合を除く)に備え付けの用紙でどうぞ

共済期間

平成15年4月1日(4月1日以降加入の場合は加入日の翌日)〜平成16年3月31日

※町内会や職場での団体加入が可能です

お尋ね 市役所交通安全対策課

(☎0957-1111)